

事例 7 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付け、よりよい文章を書くことをねらった事例

○学年 第5学年

○主な領域 [思考力, 判断力, 表現力等] B書くこと

○事例のポイント

- ① ICT端末を活用して、題材の設定や構成の検討、考えの形成、記述等を行うことによって、試行錯誤しながら意見文を書いたり、完成した意見文を共有したりしやすいようにする。
- ② 学び合い等、他者と協働することによって、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。
- ③ 自分の文章のよいところに気付くことで、自らの学習に自信をもてるようにする。

ICTを活用した主な学習場面

- ・ 題材を広げる場面
- ・ 意見文の構成を考え、書く場面
- ・ 意見文を交流する場面

ICT活用の利点

- ① 互いの考えを適時共有することができる。
- ② 順序の入れ替えや内容の修正の負担感が少ない。
- ③ 自分に適した表現方法を選ぶことで、個別最適な学びにつながる。

1 単元名・教材名 意見文を書いて読み合い、よいところを見つけよう「あなたは、どう考える」

2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童は、4年生の時に、「もしものときにそなえよう」の学習で、自分の意見や考えを述べる文章を書いている。また、5年生では、資料や調査を基にして事象を説明したり考えを述べたりする学習を積んできた。これらの学習を通して、双括型の文章構成で意見を述べたり、根拠を示して自分の意見を述べたりすることができるようになってきた児童が増えてきた。しかし、自分の主張を支える根拠に説得力が足りなかったり、根拠の示し方に工夫が足りなかったりするなど、次の課題も見えてきた。

本単元では、読み手が納得するような意見文を書く学習の中で、他者の立場を想定し、持論を述べていくという意見の述べ方を学習する。他者の立場を想定することで、児童が自分の意見をより確かなものにし、説得力をもって伝えられるようにしたい。

指導に当たっては、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける力を重点に育成したい。構成や展開の明確さには、「理由・根拠が主張に対する納得性を高めるものになっている」「文章全体の中で主張を示す段落を工夫している」などが重要となる。そこで、意見文の感想や意見を伝え合う時には、文章の構成、主張の書き方、理由・根拠、使われている言葉などに対し、具体的によいところを伝えたり、質問したりする活動を行いたい。このことを通して、自分の文章のよいところを見付けられるようにしたい。また、互いの文章のよいところを見付けて伝え合うことを通して、それらを自分の表現に生かそうとすることを期待する。

3 単元の目標

- (1) 文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。
〈知識及び技能〉(1)カ
- (2) 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉B(1)ウ
- (3) 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉B(1)カ
- (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。
〈学びに向かう力、人間性等〉

4 本単元における言語活動


事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。

(関連：言語活動例ア)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。(1)カ)	①「書くこと」において、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くことで、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ②「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。(B(1)カ)	①積極的に、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど文章に対する感想や意見を伝え合い、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。

6 指導と評価の計画 (全6時間扱い)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	○単元の学習課題を確認し、学習を見通してゴールを確認する。 ○身の回りの関心事から題材を出し合う。	○課題の設定の仕方 ○題材の検討	○考えを書いた文章を読み合ったときに、どのような発見や気づきがあったかを振り返る。 ○書いた文章を他者に読んでもらうことのよさを確かめ、単元の学習課題につなげる。 ○学習支援ソフトの思考ツールを活用して、学級内で共有しながら題材を広げるようにする。
2	○題材を決める。 ○意見文の構成の特徴を考える。	○題材の決定 ○意見文の構成の仕方	○ <u>前時の思考ツールを活用して題材を選ぶように促す。</u> ○構成の例、意見文の例を参考に、文章に線を引くなどして、主張と根拠の結び付きを視覚的に捉えられるようにする。
			<div data-bbox="430 1534 853 1758" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事例のポイント① 前時のデジタル付箋を活用し、自分のグループ以外の題材も参考にしながら、自分が主張したい題材を選べるようにする。</p> </div> <div data-bbox="901 1624 1428 1848" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【知識・技能①】 <u>ワークシート・発言</u> ・主張と根拠の結び付きを捉え、意見文の構成の特徴を理解しているか確認する。</p> </div>
3	○題材を基に主張をもち、理由・根拠を挙げる。	○主張に対する根拠の示し方	○ <u>ほかの立場からの意見や、友達から自身の根拠に対して反論をもらうことで、自分の主張を更に強められるよう</u>

	<p>○ほかの立場からも意見を見直す。</p>	<p>○文章に説得力をもたせる工夫</p>	<p>にする。</p> <p>○予想される反論とそれに対する考えをどう示すかを工夫することで、文章に説得力が生まれることを押さえる。</p> <p>【思考・判断・表現①】 ノート・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と理由・根拠、反論に対する考えを明確にし、説得力をもたせるために書き表し方を工夫しているかを確認する。
4	<p>○文章の構成を考え、意見文を書く。</p>	<p>○構成の検討 ○記述の仕方</p>	<p>○ICT端末の付箋機能を活用し、主張や根拠、反論などを色分けして整理しやすいようにする。</p> <p>○文章作成ソフトを使うか、手書きにするか、自分に適した表現方法を選べるようにする。</p> <p>【思考・判断・表現①】 ICT端末(ワークシート)・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張と理由・根拠、反論に対する考えを明確にし、説得力をもたせるために書き表し方を工夫しているかを確認する。
5	<p>○意見文を読んで感想を伝え合い、文章を推敲する。</p>	<p>○推敲の仕方 ○推敲の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成や展開に関すること ・書き方の工夫に関すること 	<p>○誤字脱字だけではなく、文章に説得力をもたせるために学んできたことを想起させ、推敲の視点を引き出すようにする。</p> <p>【思考・判断・表現②】 ICT端末(ワークシート)・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところやよりよくするために必要なことを見付けているかを確認する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度①】 ICT端末(ワークシート)・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話を通して考えたことを基に、試行錯誤しながら意見文の書き表し方を工夫しようとしているかを確認する。

編 P36 指導計画作成の留意事項(2)

事例のポイント②
交流の機会を設定することで、一人での活動の困り感を軽減したり、より説得力をもたせるための工夫を考えたりできるようにする。

編 P36 指導計画作成の留意事項(1)



編 P36 指導計画作成の留意事項(2)



6	<p>○意見文を読んで感想を伝え合い、文章のよさを見付ける。</p> <p>○学習を振り返る。</p>	<p>○交流の仕方</p> <p>○交流の視点</p> <p>編 P36 指導計画作成の留意事項(2)</p>	<p>○付箋や文章作成ソフトのコメント機能を活用して、互いの文章のよいところを伝え合えるようにする。</p>
	<p>事例のポイント③</p> <p>文章のよいところを理由とともに具体的に伝え合うことで、自分の文章のよさに気づき、自らの学習の高まりにつながるようにする。</p>	<p>【思考・判断・表現②】</p> <p><u>ノート・ICT端末</u></p> <p>・文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けているかを確認する。</p>	

7 本時の学習指導 (本時 6 / 6 時)

(1) 目標

- 文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 B(1)カ

(2) 評価規準

- 「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 【思考・判断・表現】

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 本時の学習を確認する。	○課題の把握	○本時の流れを確認し、学習の見通しをもたせるようにする。 ○本時が単元の最終時であることを確認し、単元全体で学んできたことを意識させる。	2
自分の意見文のよいところはどこだろう。			
2 意見文を読み合うときの視点を確認する。	○交流の視点 ・構成や展開に関すること ・書き方の工夫に関すること	○文章に説得力をもたせるために学んできたことを想起させ、交流の視点を引き出すようにする。	5
<p>〈構成や展開に関することの例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張を最初と最後に繰り返していると分かりやすい。 ・主張と理由や根拠などのつながりや段落を意識して、文章全体の筋道を整えていると分かりやすい。 <p>〈書き方の工夫に関することの例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由や根拠が明確で、主張を支えていると説得力がある。 ・自分の考えだけではなく、客観的な根拠も示していると説得力がある。 ・予想される反論とそれに対する考えが、主張をより確かなものにしていて説得力がある。 			

<p>3 視点を基に意見文を読み合い、感想を記入し合う。</p>	<p>○交流の仕方</p>	<p>○感想の具体例を示すことで、イメージが共有できるようにする。</p> <p>○手書きの付箋と文章作成ソフトのコメント機能を活用して、互いの文章のよいところを伝え合えるようにする。</p>	<p>20</p>
<p>事例のポイント③ 文章のよいところを理由とともに具体的に伝え合うことで、自分の文章のよさに気づき、自己効力感の高まりにつながるようにする。</p>			
<p>ICT活用の利点① タブレットで複数人が同時に読むことができるため、時間にとらわれることなく友達の文章にじっくりと向き合うことができる。また、友達からもらったコメントに対してすぐに返事を入力することもでき、双方向のやりとりが可能になる。</p>			
<p>編 P36 指導計画作成の留意事項(2)</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>【友達からのコメント】</p> <p>自分の考えだけではなく、客観的な根拠（警察庁の考察）も書いてあったので、説得力が増しました。</p> <p>自分 この段落に客観的な根拠を入れるか迷ったのですが、自分の主張を支えることができましたようでよかったです。</p> <p>初めの段落と全く同じ主張ではなく、終わりの段落で命の大切さを強調してもう一度主張を述べていて説得力がありました。</p> </div> <div style="width: 35%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自転車運転を免許制にして、事故を防ぐ。</p> <p>村たしは、自転車運転を免許制にするべきだと考える。自転車を利用している人は多いだろう。わたしも、買い物に行く時や友達と遊ぶ時などに利用している。しかし、令和四年度に警察庁が行った調査によると、自転車対歩行者の交通事故件数は、近年増加傾向にあるそうだ。また、自転車乗用中の死亡・重傷事故件数の約四分の三は、自転車側にも過失があったという分せきもあった。村たしは歩いている時に、交差点で自転車とぶつかりやすくなったことがあつた。自転車に乗っていた人は、イヤホンをつけて、かた手でスマートフォンを操作しながら運転していたので、危険に気づくのがあつたのだらう。自転車は気軽にたれでも乗れると「まあ良いのだから、免許制にしてしまうと、試験や手続きが大変で気軽に利用できなくなる」と考える人もいるのだらう。しかし、実際には自転車のルールやマナーを守らなければ、ひざん事故の頻発している。警察庁の希望でも「交通ルールが守られていれば、ひざん事故の防止につながる可能性」があると指摘している。自転車は便利な乗り物だが、乗れば車と同じであるという意識をもっと高めることが今の日本には必要なのではないだろうか。</p> <p>このように「かけがえのない一人一人の命を守るために、自転車運転を免許制にするべきだと考える」。</p> <p>（参考）「自転車関連交通事故の状況」(警察庁ホームページ)</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>【友達からのコメント】</p> <p>予想される反論への返しに説得力がありました。気軽さがよいけれど、その気軽さが事故の原因なのだと納得しました。</p> <p>自分 ありがとうございます。一番なやんで書いた部分だったので、読み手を納得させることができよかったです。</p> <p>調べたことだけではなく、自分の体験も書いてあって説得力がありました。体験したことが主張とよくつながっていて分かりやすいです。</p> </div> </div>			
<p>4 本時のまとめをする。 ・友達からのコメントを読んで、自分の文章のよさについてまとめ</p>	<p>○自分の考えのまとめ方</p>	<p>評価規準 【思考・判断・表現②】 ノート・ICT端末</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流の視点を基に、自分の文章のよいところを見付けることができている児童をBとする。 〈「努力を要する」状況(C)への手立て〉 友達からもらったコメントの中で、よいところを具体的に書いてくれているものに着目するよう助言する。 	<p>8</p>
<p>〈期待される児童のまとめ〉 私の意見文のよいところは、反論に対する考えに説得力があるところです。自分とは異なる意見の人を想定して、自分の考えを述べることは初めてで難しかったけれど、相手を納得させる文章が書けました。</p>			

<p>5 学習の振り返りをす る。</p>	<p>○振り返りの仕方</p>	<p>○本時の学習を通して、気付いたことや考えたことを振り返らせ、自分自身が説得力のある文章を書くことができるようになったことを実感させる。</p> <p>○単元全体の学びを振り返り、読み合って見つけた互いの文章のよさを、これから文章を書く時に生かせるようにする。</p>	<p>10</p>
<p>〈期待される児童の振り返り〉</p> <p>今回の単元で意見文を書く時には、主張を最初と最後にくり返すことや、反論を予想して考えを述べるなどの工夫をすると説得力のある文章が書けることを学びました。また、友達と交流することで、友達の文章の工夫や、自分では気付かなかった自分の文章のよさにも気付くことができました。これから文章を書く時には、今回学んだことを生かして、様々な立場からの意見を考えて自分の意見を伝えたいです。</p>			

(4) 板書計画

あなたは、どう考える

めあて

自分の意見文のよいところはどこだろう。

〈交流の視点〉

①構成や展開に関すること

分かりやすい

- ・主張を最初と最後にくり返している。
- ・主張と理由や根拠などのつながりや段落を意識して、文章全体の筋道を整えている。

②書き方の工夫に関すること

説得力がある

- ・理由や根拠が明確で、主張を支えている。
- ・自分の考えだけではなく、客観的な根拠も示している。
- ・予想される反論とそれに対する考えが、主張をより確かなものになっている。

まとめ

私の意見文のよいところは・・・

振り返り

○今日の学習を通して

○単元全体の学習を通して

気付いた・考えた
学んだ・できた

これから生かしたいこと